

大人の風しんが大流行中

いま都心部を中心に、働き盛りの年代の風しんが大流行しています。特に妊娠初期の女性が風しんに罹ってしまうとお腹の赤ちゃんに影響が出てしまう恐れがあります。生まれてくる子供たちのためにも予防接種を受けたことがない方、接種歴の不明な方はこの機会に予防接種を受けましょう。

どんな症状？



- ・ 発疹 …赤い細かな発疹が全身に広がって出る
- ・ リンパ腺の腫れ …耳の後ろや首のつけ根が腫れて触るとグリグリする
- ・ 発熱 …38℃前後の熱が出る（出ないこともありえる）
- ・ 目の充血 …白目が赤く充血する

*咳・くしゃみによる飛沫感染 *2～3週間の潜伏期間あり
 幼児期に罹ると通常2～3日で治ることから『三日はしか』とも呼ばれていますが成人で罹ると合併症を起こしたりと重症化する場合があります。

また、風しんに罹っても特効薬はありませんので、安静にして症状が治まるまでは外出は禁止になります。

妊婦さんご注意ください！

妊娠初期の女性が風しんに罹ると、生まれつきの難聴、白内障、心臓病、精神運動発達遅延などの子どもが生まれることがあり、これを『先天性風しん症候群』といいます。

妊娠中の方は感染しないように不要不急の外出や人混みは避けてマスクを着用するようにしましょう。



※妊娠中は予防接種を受けることが出来ませんので、これから妊娠・出産を希望する女性、ご家族や職場で妊娠中の人がいる方は積極的に予防接種をしましょう。